

わくわく田底っ子

第4号

文責：校長 益永 一幸

「児童会総会」～自分たちの学校は自分たちで創る～



発表が終わって
質問や感想タイ
ム。いろんな質
問が出ました。

スポーツ委員
長がみんなの
前で発表して
います

大型連休が終わり心配していましたが、子どもたちは毎日元気に登校し、一生懸命学習に臨んでいます。12日（金）の3校時に、委員会活動の計画やお知らせ等を発表する「児童会総会」を行いました。4年生以上の児童が委員会に所属し、それぞれの役割に応じて活動します。そのスピリッツは「自分たちの学校は自分たちで創る」ということです。6年生を中心にとっても意欲的に活動しています。教師は、子どもたちの活動をしっかり見守り支援していきます。

5月 校長の話 「やってみよう」を合言葉に

「やればできる」という言葉を聞いたことはありますか。これは、お笑いコンビ、ティモンディ高岸さんのキャッチフレーズです。この言葉は、ティモンディ高岸さんの出身高校である、愛媛県済美高校の校訓だそうです。やればできるから自信をもってやろう、という前向きな言葉です。「やればできる」の反対は何でしょう。「やらないとできない」です。

さて、田底小学校にも同じように前向きな言葉がありますね。今年度のチャレンジ目標「やってみよう」です。これは、わかる・できるようになるためには、「やらないとできない」ので、まずは、「やってみよう」ということです。

同じようなことを、昔の人も言っています。江戸時代の米沢藩主の上杉鷹山という人の名言です。紹介します。「為せば成る。為さねばならぬ何事も。成らぬは人の為さぬなりけり。」

これはどんな意味かというと、「どんなことでもやろうと思って努力すれば必ずできる。逆に、無理だと思ってあきらめ努力しなければ、何もできない。」という意味です。

みなさん。この名言を暗誦できた人は校長室に来てください。暗誦テストの一つに加えます。

そして、学級のみんで、何かやろうと決めたことは、最初に「やってみよう」を合言葉に始めてみてはどうでしょうか。きっとやる気が出ますよ。

2・4・6年生の保護者の皆様には、5月14日（日）の愛校作業は大変お世話になります。4年生・6年生の児童も参加もお願いします。暖かくなり、雑草も増えてきていますので、ご協力お願いします。